

【樹木の部屋】

ハマボウ（アオイ科フヨウ属 Hibiscus hamabo）

和名：ハマボウ（浜朴、黄槿） **別名**：ハマツバキ、キイロムクゲ **英名**：

アオイ目 落葉低木 **原産地**：

花言葉：楽しい思い出 **花の色**：黄

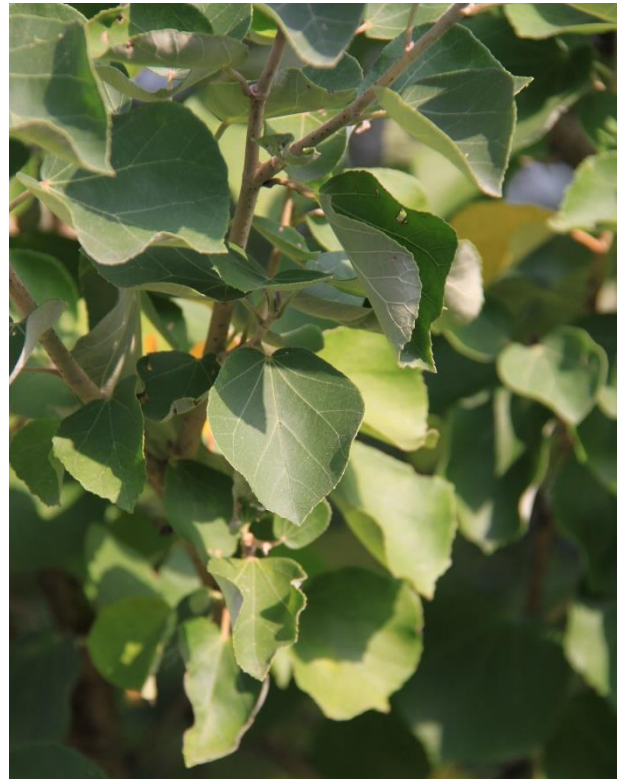


← 写真-1 ハマボウ

撮影日：2015年10月24日

撮影場所：橘寺(奈良県明日香村)にて

撮影者：M さん



→ 写真-2 ハマボウの葉

撮影日：2015年10月24日

撮影場所：橘寺

(奈良県明日香村)にて

撮影者：M さん

奈良県明日香村にある橘寺を訪れた際、境内の一角で見かけました。花期は、7～8月。残念ながら、花を觀賞することはできませんでした。花の形態は同属のハイビスカス、ムクゲ、フヨウ等に似、直径7cm程度の、中心が赤褐色の黄色い花を咲かせるそうです。

5枚の花弁は付け根から回旋して伸び、中心の赤褐色部は船のスクリーンのように見え、花は1日でしぼみますが、大きな株は夏季に毎日次々と開花するそうです。また、木材はキクラゲ原木栽培のホダ木に使われるそうです。

< ちょっと一言 >

- ＊ 橘寺（たちばなでら）は、天台宗の寺院。正式には「仏頭山上宮
皇院菩提寺」と称し、本尊は聖徳太子・如意輪観音。橘寺という名
は、垂仁天皇の命により不老不死の果物を取りに行った田道間守が
持ち帰った橘の実を植えたことに由来します。また、聖徳太子建立
七大寺の一つとされています。